

議員広報委員会研修報告書

研修先	令和5年度町村議会広報クリニック 全国町村議員会館（東京都千代田区）
日程	日帰り研修 役場 ⇒ 守谷SA ⇒ 昼食 ⇒ 会館研修 ⇒ 守谷SA ⇒ 役場
参加者	阿久津議長・藤咲副委員長・飯村議員・綿引議員・金長議員・高橋議員・事務局
【内 容】	講師 DESIGN JAPAN 株式会社 代表取締役 佐久間 智之  1. 自己紹介 2. 広報の目的 3. 住民目線のデザイン思考～コミュニケーションデザイン～ 4. 3つのメディアと写真撮影のポイント 5. 議会広報の役割～事例を交えて 6. すべての人への配慮間 ユニバーサルデザイン 7. 議会広報に必要な文章とデザイン レイアウト 8. まとめ ～クリニック～  今回の講師の佐久間智之様から自己紹介後「広報紙」の役割について説明があり ご自身の経験から如何に町民や市民目線の紙面作りをするかが大切かを力説される レイアウトの基本・写真の配置・文字のフォント・色のグラデーションなど 構成全般におけるポイントを様々な事例を用いて分かり易くかつ具体的に説明される また文字の表記・文字の選定など細かい指導があり、印象やインパクトが違えば より見やすくより手に取って頂ける「議会だより」広報紙になるという事例多数 最後は、茨城県のみならず今回参加されました各都道府県町村議会の「議会だより」 の添削やアドバイス・改善点等詳細な指示を頂く
【所感・課題等】	冒頭の、読まれない・愛のない広報紙は「税金の無駄」という言葉が痛烈でした 伝えたいことと知りたいことは≠ではない 伝えるのではなく伝わる工夫が広報の役割 人は一瞬で判断できるのは9～13文字程度（Yahoo!トピック）相当 0. 3秒で自分に関心があるかないかを判断してしまう 表紙がなによりも大切で住民参加の紙面づくりがいかに重要かを再認識 結局いくら「議会だより」を作成し発行しても手に取って読んでもらわないと意味がない 細かい方程式を知り学ぶことも当然大切ですが、町民不在では結局自己満足の広報紙 いかに分かり易く町民の感覚で紙面づくりをするかにかかってくるのだと感じました 新しいことをチャレンジしないと議会も取り残されてしまう すべてはこの言葉に集約されていると思います 180度変えるぐらいの分岐点かと・・・